

デートDVの実態と 予防教育実施状況について

NPO法人デートDV防止全国ネットワーク
事務局長 阿部真紀

NPO法人 デートDV防止全国ネットワーク

目的：全国でデートDV防止や支援に関わる活動をしている機関、団体、個人に対して、予防教育の普及を促進するための調査研究や政策提言、当事者支援のための連携、啓発活動等に関する事業を行い、**デートDVのない社会の実現**に寄与することを目的とします。

2018年8月26日デートDV防止全国ネットワーク
設立記念イベント

2018年11月1日デートDV防止全国ネットワーク
NPO法人として設立登記

交際経験のある人のうち、 なんらかの被害経験は4割

全年齢		一つでも	一つでも		10代のみ	一つでも	一つでも	
交際経験のある人		被害	加害		交際経験のある人	被害	加害	
全体	N=1329	38.9%	20.8%		全体	N=1186	37.9%	21.0%
女性	N=894	44.5%	21.0%		女性	N=771	43.8%	21.4%
男性	N=435	27.4%	20.5%		男性	N=415	26.7%	20.2%

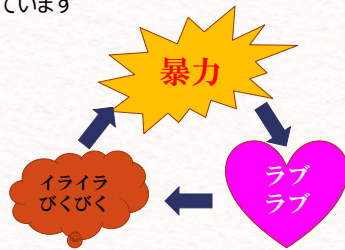
全国デートDV実態調査2016年10月～12月認定NPO法人エンバワメントかながわ
「デートDV白書VOL.5」として報告
https://notalone-ddv.org/wp-content/uploads/2018/01/ddv_hakusho_vol5.pdf

深刻な性被害もあります

- ・「返信が遅いと怒る」(*女性24.2%、男性13.3%)、
- ・「他の異性と話をしないと約束する」(女性15.4%、男性11.5%)
- ・「別れたら死ぬと言う」(女性11.4%、男性5.5%)
- ・「首を絞める」(女性2.8%)
- ・「嫌がっているのにセックスをする」(女性6.0%)
- ・「避妊に協力しない」(女性6.2%)、
- ・「裸や性行為の写真や動画を撮る」(女性4.7%)
- ・「裸や性行為の写真や動画を撮りたい、送ってほしいと要求する」(女性9.6%)

* ()内は上記調査での被害率。

DVにはサイクルがあるとされています
 暴力を振るった後に、
 一転してやさしくなったり
 二度としないと謝ります
 また
 思い通りにならないことがあったり
 イライラする中で、暴力が起き
 繰り返される中で
 暴力はだんだん激しく、
 暴力の起きる周期は短くなっていきます



DVのサイクル ⇒ 本人が気づきにくい
 ⇒ 別れるのが難しい

怖い やっぱり好き
 自分が我慢していれば 何をされるかわからない
 変わるかもしれない
 自分が悪い
 この人しかいない 自分のために怒ってくれている
 自分をわかってくれるのはこの人だけ
 ひとりになりたくない
 きっと誰も分かってくれない
 別れられなくても、その人が悪いわけではない
 教職員や保護者など周囲のおとなが
 デートDVの構造を理解しておく必要がある
 別れられない理由

取り返しのつかない事件に 発展することも

- 令和元年警察庁「ストーカー事案の相談件数」は、20,912件。被害者と加害者の関係では、**交際相手が42.6%でトップ。**
- 被害者の年齢では、**10～20歳代が45.3%を占める。**

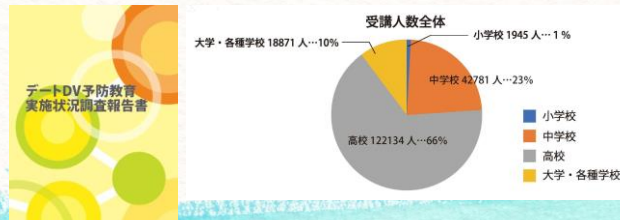
交際相手や元交際相手を
 殺してしまう事件が
 頻繁に起きています

デートDV防止全国マップ

- デートDV防止教育の講師の派遣、啓発グッズ等の制作、相談窓口のいずれかを行う団体や機関、個人を掲載しています。
- 全国120団体
- notAlone デートDVの情報提供と啓発サイト
<https://notalone-ddv.org/>
- ナタロン⇒検索

デートDV予防教育実施状況調査

- 回答があった**79団体**が、2018年度に実施したデートDV予防教育は、**1265回**。
- **185,731人**が受講した。うち、高校生122,134人、次いで中学生42,781人、大学・各種学校が18,871人、小学生が1,945人であった。



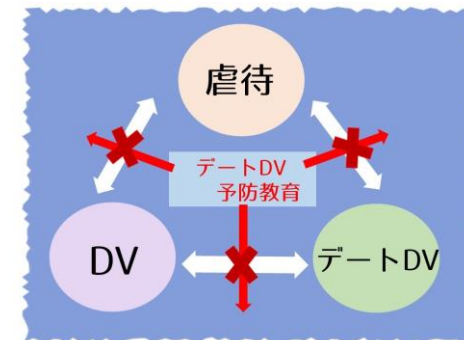
動画を見て考えよう
(エンパワメントかながわデートDV予防プログラムより)



受講した生徒の感想

- 自分はされたり、したこともありませんが、やられた人は絶対辛いし、嫌な気持ちになっていると思うので、もし自分がその立場になったら相手に意見を言える関係でいたいです。
⇒被害者を作らない
- 自分はそんなこともやりたくないし、やられたくもない。こんなことがない社会になるようにしたい。
- 自分が彼女にしていることがデートDVだと今日気づきました。
⇒加害者を作らない
- もし自分の友達がデートDVに巻き込まれていたら助けてあげたいと思いました。
⇒傍観者を作らない

DVと虐待の連鎖を断ち切るために
デートDV予防教育が有効です！



交際相手からの被害経験がある女性のうち約6割(56.6%)が配偶者からの被害経験もある。
(平成29年内閣府「男女間における暴力に関する調査」)